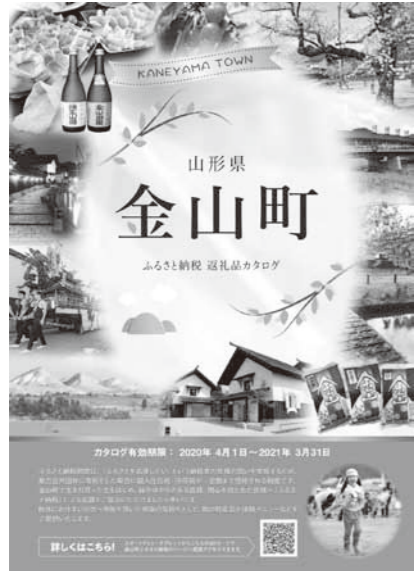


財政再建と行政運営は



パリエーションに富んだ
金山町のふるさと納税返礼品

問 ふるさと寄付が年々減少している原因をどう捉えているのか。現時点での町の返礼品の目玉は何か。また、新たな返礼品の進捗状況は。

答 総合政策課長 平成27年から3年間は1億円を超える寄付を頂いていたが、令和元年から返礼割合が5割から3割になり件数も金額も落ちてきた。返礼

問 品は色々取り揃えているが一番多いのはお米で、新たに金山での暮らしを体験してもらおうと体験型返礼品も設けた。ポータルサイトも重要と考え、ふるさとチョイスや楽天などいくつか契約を結んでいる。

答 決算書、雑入その他700万円の内訳は、新庄最上ジモト大学コンソーシアム負担金について、かねやま大栗校の実績とコロナ禍の中で

問 昨年度100万円を充てた町委託事業だが、どのような目的で始め、これまで総額いくら費やしてきたか。また、当初の目的を達成したか。安定した人氣イベントなのであればホテル独自で運営しては。

答 産業課長 ホテルスタッフのおもてなし向上等を目的とし、観光客と交流人口の拡大を目指した。年間約600名程の利用がある。平成19年より13年間で総額850万円を費やしたが、集客という意味では一定の効果があったと考える。事業見



森の演奏会

直しの候補としては挙げており、ホテル独自の事業にできないか等、来年度の運営をホテルと協議していく。

問 町長 年数の経過したイベントなので今後のあり方を検討しなければならぬ。

答 町長は町民の声をどう聴いていくのか



寒河江宏一 決算特別委員長

令和元年度の予算（一般会計、5特別会計、1企業会計）がどのように使われ、どのような効果があったか審議するため、決算特別委員会が設置された。委員長に寒河江宏一議員、副委員長に早坂憲明議員を互選し、9月8日に丹洋一代表監査委員から各会計決算意見書の説明を受け、10日と11日の3日間にわたり決算状況を審議した。委員長を除く9名の委員が質疑を行った結果、全会計の決算について全員賛成で認定した。

議案番号	会計名	歳入決算額	歳出決算額
56号	一般会計	45億7010万円	42億4954万円
57号	国民健康保険特別会計（事業勘定）	601万円	594万円
	国民健康保険特別会計（直診勘定）	3億5782万円	3億5115万円
58号	介護保険特別会計	8億4058万円	8億1035万円
59号	後期高齢者医療特別会計	6395万円	6163万円
60号	農業集落排水事業特別会計	1億559万円	1億367万円
61号	公共下水道事業特別会計	1億5679万円	1億5270万円
62号	水道事業会計（収益的収支）	1億8750万円	1億8961万円
	水道事業会計（資本的収支）	0万円	7712万円

決算審査意見

丹 洋 一
代表監査委員

一般会計並びに6特別会計の歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調査は、法令に準拠して作成されており、決算計数は、関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

主な財政指標では、経常収支比率91・6%、実質公債比率9.9%、将来負担率57・5%となり、現在のところ問題はないものの、引き続き財源不足に留意が必要である。

財政運営基金は、前年度対比で微増となっているが、標準財政規模の5%以上を堅持し、今後の行財政運営に努めていただきたい。

決算特別委員会

9月
8・10・11日

町民ホール